

ちよっと名大史

名古屋県仮医学校・仮病院跡

名古屋大学の源流は、医学部の前身となっている1871年8月開設の名古屋県仮医学校・仮病院にまで遡ります。仮医学校は、名古屋城の南外堀のほぼ中央に架かる本町橋の南東にあった旧名古屋藩の評定所跡地に、仮病院もその西側、本町通りを挟んで向かい側にあった、同じく旧名古屋藩の名古屋町奉行所跡地に設けられました。

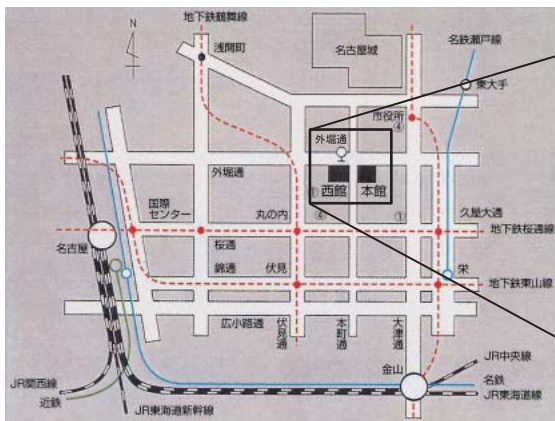
開国前後にコレラなど、諸外国からもたらされたと思われる伝染病が頻繁に発生し、その対策医療が明治新政府の重要な政策課題のひとつとなっていました。名古屋城 = 名古屋県庁の南すぐ近く、旧評定所・旧町奉行所という旧藩政の重要な行政機関の跡地に、仮医学校・仮病院が設置されたことは、いかに明治新政府 = 名古屋県が医療政策を重要視していたかということをおもうかがわせませす。

仮病院は半年後の翌年2月にいったん廃止され、仮医学校の方も同年8月の学制変革により廃校に及んだとされています。しかしこれは名古屋県の行政改革上の一時措置であつたらしく、同年8月には仮医学校職員らの有志により「義病院」の名称で同じ場所で再開されました。ただこの義病院は財政難から、翌1873年2月にはまたもや閉院になったとされています。

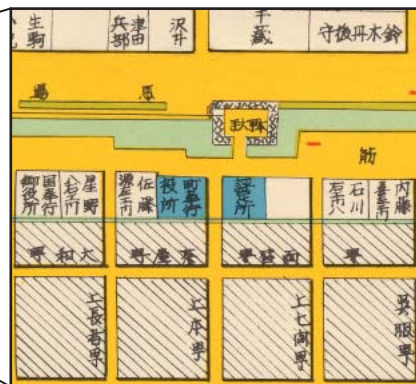
現在は、仮医学校跡地が愛知県産業貿易館本館（名古屋市中区丸の内三丁目）に、仮病院跡地が同会館西館（同丸の内二丁目）になっています。



愛知県産業貿易館



所在地



当時の街並

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046）へご連絡下さい。